

**鳥取城跡観光推進計画
(案)**

平成24年3月

鳥取市中心市街地再生本部
城跡観光推進部会

■目 次

1. 城跡観光推進計画の背景.....	1
2. 鳥取城跡周辺に関する現状.....	2
(1) 鳥取城跡周辺の歴史.....	2
(2) 上位計画.....	2
(3) これまでの主な取り組み.....	2
3. 観光推進に向けた課題.....	3
4. 観光推進に向けた具体的施策.....	4
(1) テーマ.....	4
(2) ゾーニング.....	4
(3) 具体的施策(案)一覧.....	5
(4) 具体的施策位置図.....	6
(5) 主な施策の概要(案).....	7
5. 今後の進め方.....	12
(1) 観光推進計画の事業実施に向けた連携体制.....	12
(2) 地域住民と連携したまちづくりの手法.....	12
(3) 事業スケジュール(案).....	13

1. 城跡観光推進計画の背景

城下町鳥取は、久松山や袋川、千代川などの地理的条件のもとで形成され、市街地からは久松山（鳥取城跡）を仰ぎ見ることができるなど、特徴的な景観が現在に継承されています。

平成 24 年度の姫鳥線開通を契機として、中心市街地における観光客増や地域間交流の拡大を目指し、市街地のランドマークとなっている「史跡鳥取城跡」を貴重な観光資源として捉え、これを拠点とした市内周遊の実現を図るため、城跡観光推進計画を策定します。

一方で、鳥取城跡及び周辺地域を含む久松山山系は、景観計画の中で景観形成重点区域となっており、歴史・文化と自然が調和した景観づくりを進めるためには、歴史的建造物や史跡、文化財等と一体となった自然景観を保全することで、観光資源としての魅力向上を図る必要もあります。

なお、城跡観光推進計画を踏まえた事業を平成 30 年度までに実施することを目標とし、鳥取城跡周辺に点在する文化観光施設の入館数の増加やボランティアガイド詰所「きなんせえ家」の利用者数の増加につながる事業パッケージの構築を目指します。



2. 鳥取城跡周辺に関する現状

(1) 鳥取城跡周辺の歴史

鳥取城は戦国時代、織田信長の命を受けた羽柴秀吉の兵糧攻めで落城したものの、通常の攻撃では攻めきれない防御に優れた山城でした。現在では、久松山及び太閤ヶ平の中世城郭遺構と久松山の麓に遺構が残されています。

鳥取市街地は、江戸時代から行政機能の集積した城跡周辺と、明治期以降に商業機能が集積された駅周辺の2つの核と、これを結ぶ若桜街道と智頭街道の2つの街道を軸とする「2核2軸」の都市構造が形成されています。

なお、昭和27年鳥取大火を受けて、日本初の防火地区指定や防火建築帯の整備を行うなど、災害からの復興を果たしたまちといえ、若桜街道が復興のシンボルとなっています。

以上のことから、**鳥取城跡周辺には現代に至るまちの基礎となる戦国時代からの多様な歴史・文化がある**といえます。

(2) 上位計画

鳥取城跡観光推進計画は、第9次鳥取市総合計画、鳥取市中心市街地活性化基本計画、鳥取市都市計画マスタープランなど、既存の上位計画の内容を考慮し、整合性のとれた計画とします。

【参考】

第9次鳥取市総合計画 「鳥取城跡観光の推進」より

- ・片原駐車場に周遊案内板や電動のレンタサイクルなどを配備し、回遊性を高めます。
- ・鳥取城跡久松公園の再整備、お堀端沿道の景観整備、誘導サインの整備、観光パンフレットの充実などにより、観光地としての魅力を高めます。

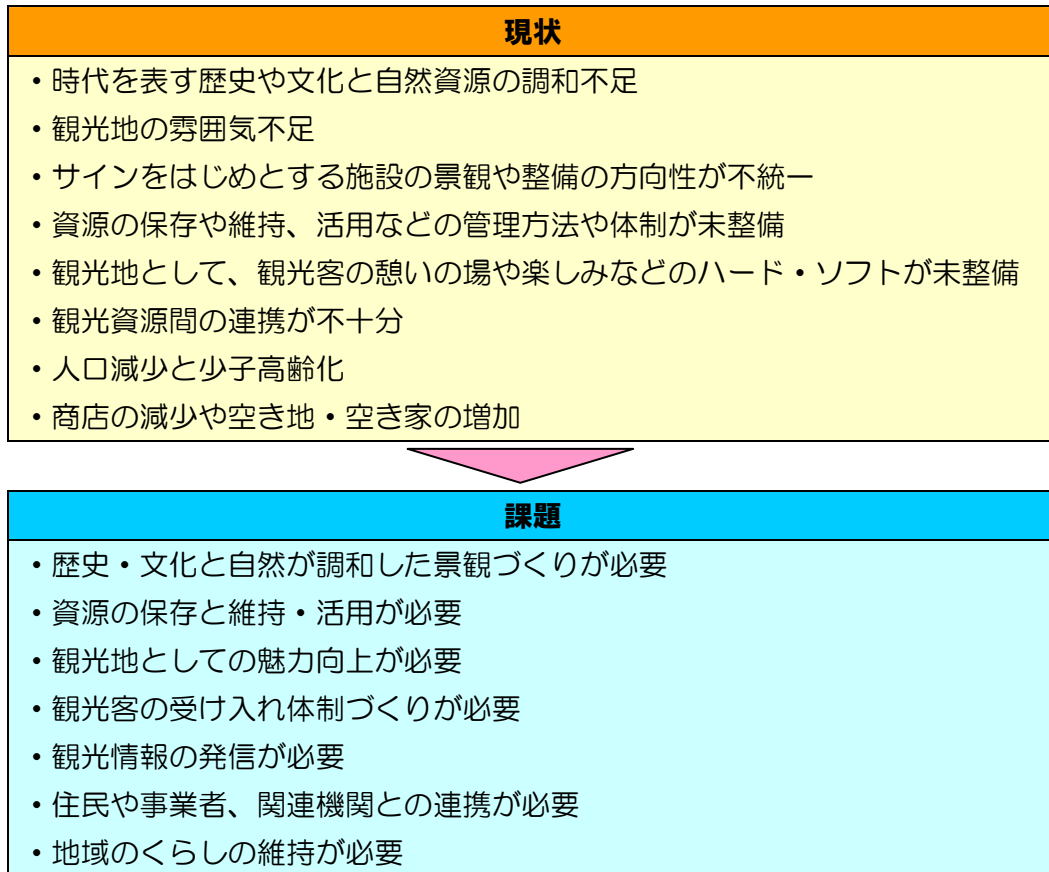
(3) これまでの主な取り組み

これまでに鳥取城跡周辺の観光推進に向けて、以下のような取り組みを行ってきました。

主管課	これまでの主な取り組み
都市環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・市営片原駐車場レンタサイクル ・コミュニティホールで城跡周辺の周遊案内板の表示
都市緑化推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべ夢ひろばの整備
道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・除草管理レベル向上
文化財課	<ul style="list-style-type: none"> ・保存管理に向けた調査検討・計画 ・各種修理・復元整備 ・フォーラム実施や地元団体との協働、パンフレット作成など利活用
観光 コンベンション 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・電動レンタサイクルの配置 ・「きなんせえ家」の設置 ・ボランティアガイドの育成
文化芸術推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべ館リニューアルオープン ・高砂屋ギャラリー開設・市の開催
中心市街地整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・現本庁舎周辺地域活性化検討委員会の設置と検討

3. 観光推進に向けた課題

鳥取城跡周辺では、観光地としての環境が整っているとはいえない状況にあるため、観光推進のためには、景観整備や情報発信など、ハード・ソフト両面の整備が必要であるといえます。また、観光客に対する視点だけでなく、まちを支えている地域住民に対する視点も必要です。



4. 観光推進に向けた具体的施策

(1) テーマ

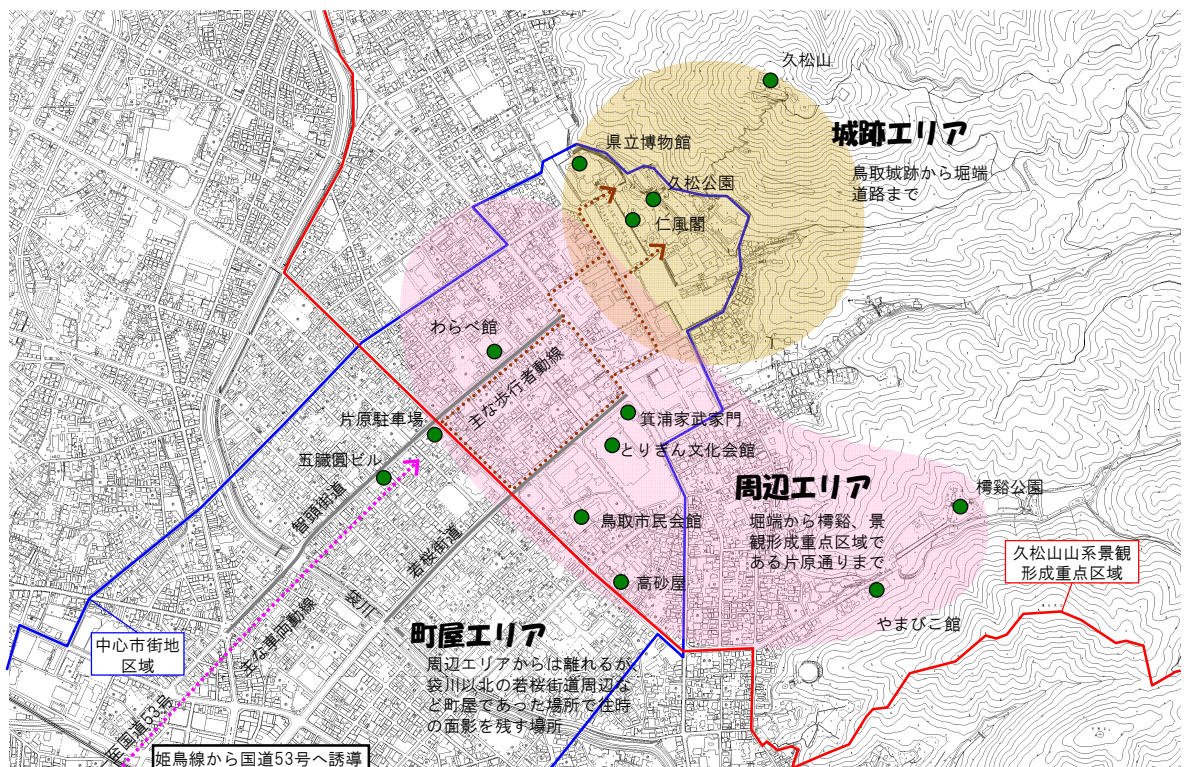
鳥取城跡周辺における観光を推進するため、テーマを以下のように設定します。

礎を活かした魅力づくり

- 戦国時代からの鳥取を学び、江戸時代につくられた鳥取の基礎を活かしながら、新しいとっとりの姿を切り拓いていきます。
- 鳥取城跡周辺には、城下町や町屋、明治の洋館、災害からの復興など、多様な時代を示す資源があり、これらを伝えていける場所があります。また、観光客も時代の変遷を感じることができることから、これらの資源を活かしていきます。
- 地域の資源は、観光客の視点を踏まえて保存や活用を図ります。一方で、観光客だけでなく、まちを支えるのは住民であることから、地域のくらしの質の向上も図ります。
- 鳥取市は水害、震災、火災等多くの災害を経験、復興を果たしたまちであることから、「防災のまち」としてのまちづくりを推進し、地域内外へのPRを行います。

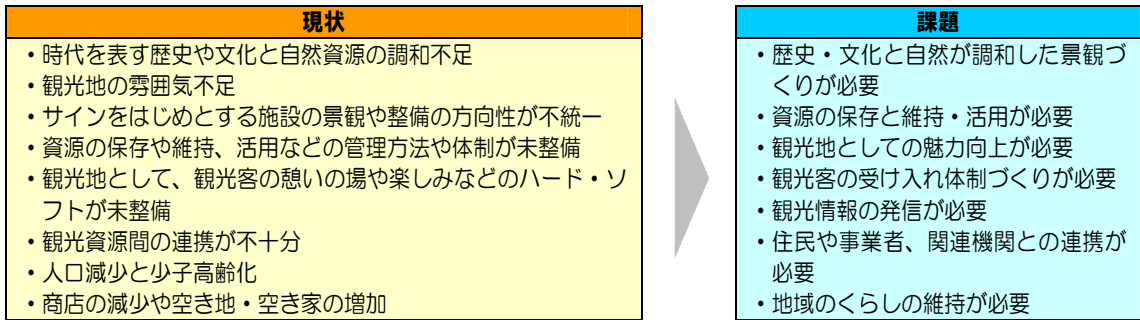
(2) ゾーニング

鳥取城跡エリアを中心としたゾーニングは、下図のように示すことができます。



(3) 具体的施策(案)一覧

鳥取城跡周辺における観光推進に向けて、現状と課題を踏まえ、以下の基本方針に基づいて、様々な施策を進めていきます。



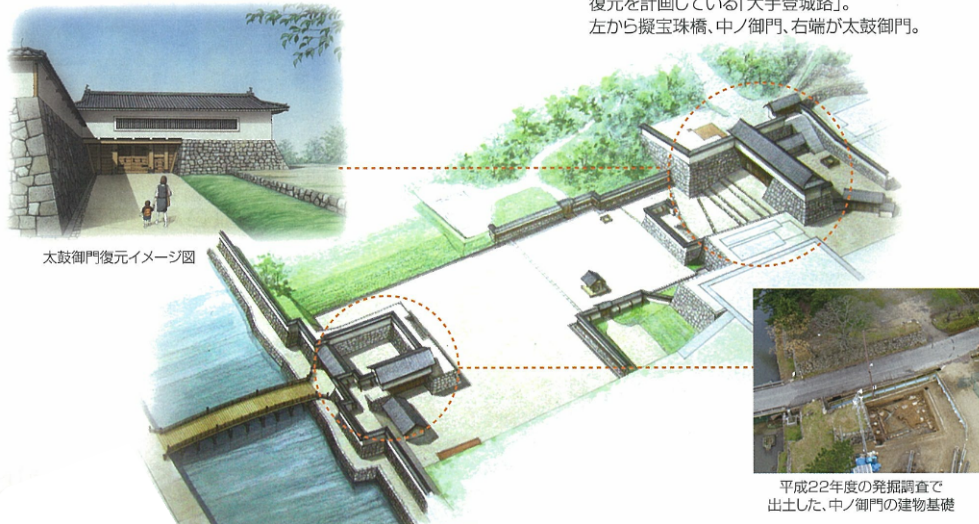
(5) 主な施策の概要(案)

以下に主な施策の概要を示します。

◆大手筋の復元・整備・保全

その他遺構の調査・復元・整備・保全(主体:市)

- ・史跡の調査及び、復元・整備・保全。
- ・保存活用に向けた調査・検討。

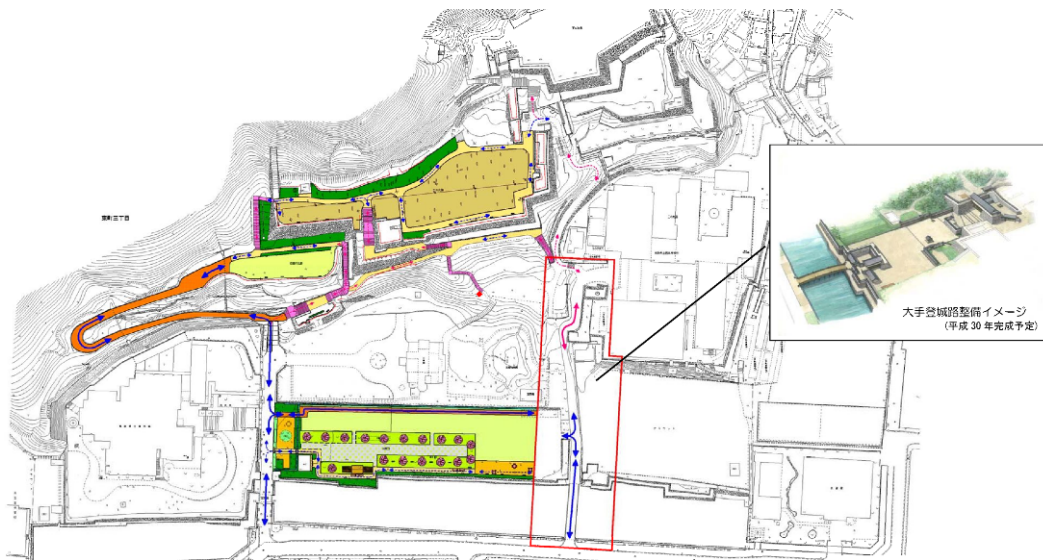


太鼓御門復元イメージ図

大手筋整備イメージ

◆久松公園の整備(主体:市)

- ・公園として利用頻度が高く再整備を必要としている箇所について、バリアフリーに配慮した整備を実施。
- ・久松山登山路の案内サイン設置。
- ・米蔵跡を利用したイベントへの対応。

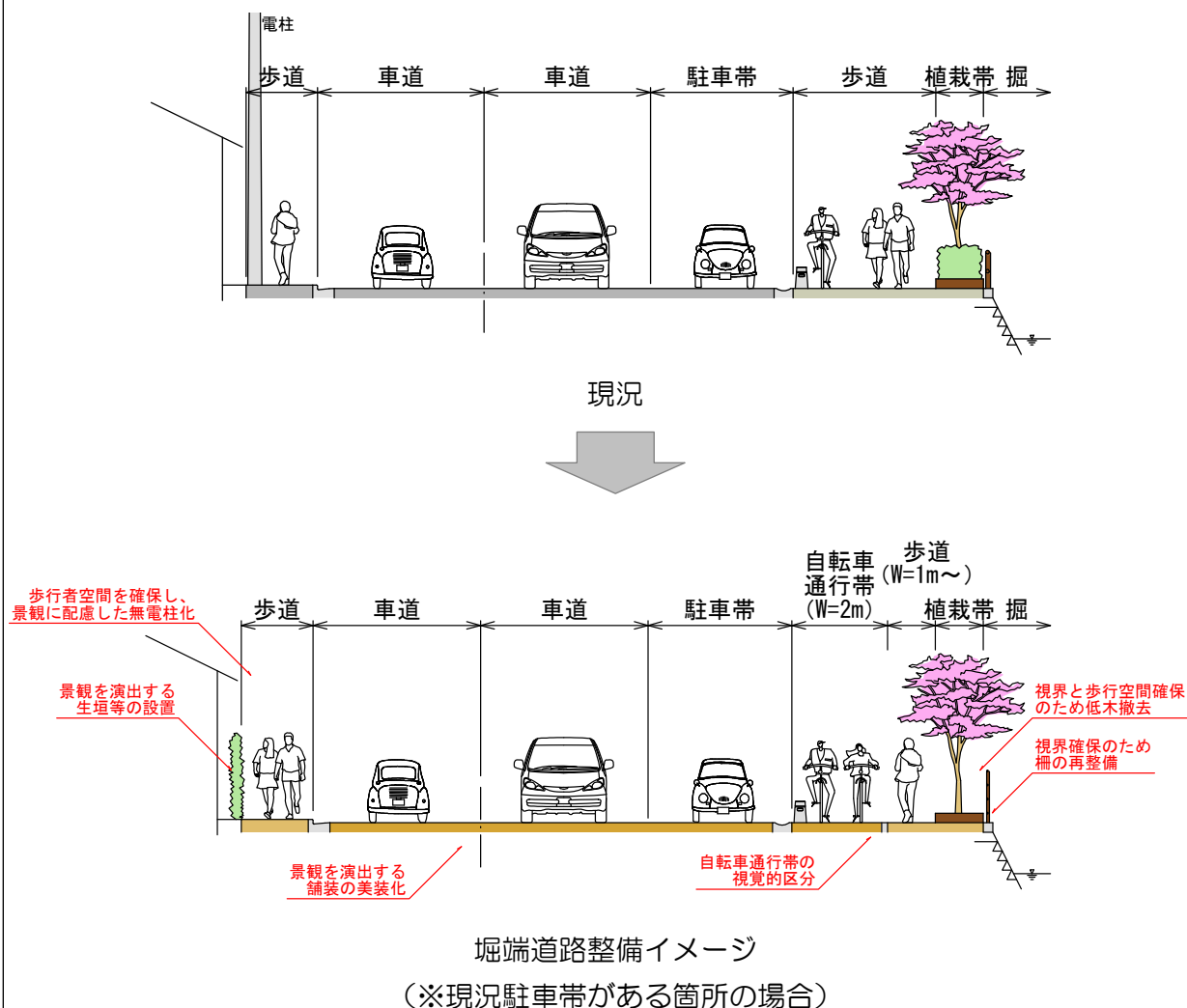


久松公園整備イメージ

◆堀端道路の整備（主体：市）

景観整備・保全（主体：市、民間）

- ・道路整備。（自・歩車道の再配置、舗装美装化、柵や植栽の整理、無電柱化）
- ・景観整備。（地元住民と連携した生垣助成モデル事業、生垣スペースが無い場合は板塀）



◆城跡観光拠点施設の整備（主体：市、民間）

- ・城跡周辺に訪れた人の休憩所となる、城跡観光の拠点施設の整備を検討。
- ・周遊観光の拠点として、情報発信。
- ・観光ボランティアガイド機能の強化を図り、ガイド詰所を常設化。

◆移動・周遊手段の整備（主体：民間）、自転車駐車場の整備（主体：市）

- ・駐車場から城跡や、城跡から周辺地域への移動手段の導入整備を検討。（徒歩、自転車、オペレーターが観光のガイドを兼ねた人力車、ペロタクシーなど）
- ・導入する場合には、運営方法の検討も必要。
- ・移動・周遊手段の中心となりうる自転車の駐車スペースを確保。

◆案内サイン・解説板（モニュメントガイド）の設置（主体：市）

- ・史跡復元図の掲出。
- ・片原駐車場から城跡までの案内、誘導サイン。
- ・城跡周辺に残る石垣、遺構、跡地などの解説板。
- ・堀端道路に設置されている不要看板の撤去、整理。
- ・鳥取自動車道の利用者に対する案内、誘導サイン。



【案内サイン タイプ1】
大拠点・直立型



【案内サイン タイプ3】
中拠点・直立型



【誘導サイン タイプ1】
直立・自立型



幹線道路上の誘導案内看板

◆電気自動車充電ポイントの整備（主体：市、民間）

- ・来訪者や観光客の誘致につながる電気自動車充電ポイントを設置。
- ・設置場所などの検討。
- ・民間事業者との連携が必要。

◆公衆無線 LAN 接続ポイントの整備（主体：市、民間）

- ・スマートフォンなどの多機能端末への移行により、外出先からのインターネット利用が増えている。
- ・インターネットは情報収集だけでなく、発信の手段ともなっているため、インターネット接続環境を整備するため、公衆無線 LAN の接続ポイントを充実させる。
- ・民間事業者との連携が必要。

◆更なる活用が期待される建物（主体：市、民間）

- ・片原駐車場・・・車による観光客の拠点として情報提供
- ・わらべ館・・・リニューアルを機とする更なる集客策
- ・仁風閣・・・庭園利用の増加促進
- ・やまびこ館・・・魅力発信施設として展示の充実
- ・高砂屋・・・体験プログラム開発と他施設との連携



◆ガイドブックの発行（主体：市、民間）

- ・鳥取に関連するパンフレットを作成、発行。
- ・パンフレットをまとめるとガイドブックとして利用できる冊子。
- ・新たな周遊ルートの開発。
- ・パンフレットと連動した、地図上へ写真投稿できるアプリの作成と運営。
- ・パンフレットの項目（案）は、
鳥取城の歴史、中世鳥取城・鳥取城攻め、近世鳥取城・城下町鳥取、
人物（藩主と家臣）、ゆかりの人物・女性、鳥取の井戸・温泉、
街歩きマップ（城跡、寺社、お店、食、カフェ、写真スポット、パブリックアート）、など。

◆日本 100 名城の活用（主体：市）

- ・鳥取城は（財）日本城郭協会が選定した日本名城 100 選のひとつであることを活用。
- ・鳥取城は、久松山山頂と麓を中心に城郭遺構を持っている。

◆映画ロケ等による知名度と魅力の向上（主体：市、民間）

- ・映画ロケ等を誘致することで、知名度及び城跡周辺の魅力を向上。
- ・フィルムコミッションなどの市民団体との連携。

◆イベントでの観光客誘致（主体：市、民間）

- ・イベントを通じた観光客の誘致。
- ・既存施設と連携した集客イベントプログラムの開発。

◆観光事業者等支援（主体：市、民間）

- やる気のある民間事業者の掘り起こしと財政的支援。
- 「観光」「食」「体験」などがテーマ。

◆住民参画型の実施計画策定（主体：市、民間）

- 次年度以降の事業実施計画の策定。
- まちづくりには、地域の特性や事情を踏まえて、地域住民や地域の団体が自ら考えることが必要。
- 地域の実情に即したアイデアや提言を受けて手づくりの事業推進を図る。



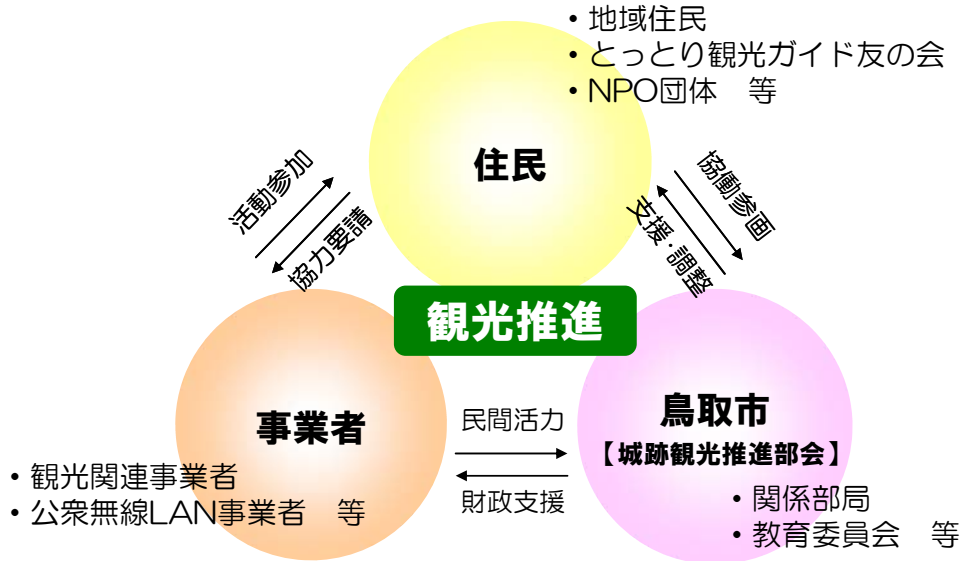
◆対応者のレベルアップ（主体：市、民間）

- 観光客に対して、鳥取の人が、魅力的であることが必要。
- 鳥取市民が観光客に対するおもてなしの心を持つような啓発も必要。
- 観光拠点施設の整備に合わせて、観光ボランティアガイドの育成を支援。

5. 今後の進め方

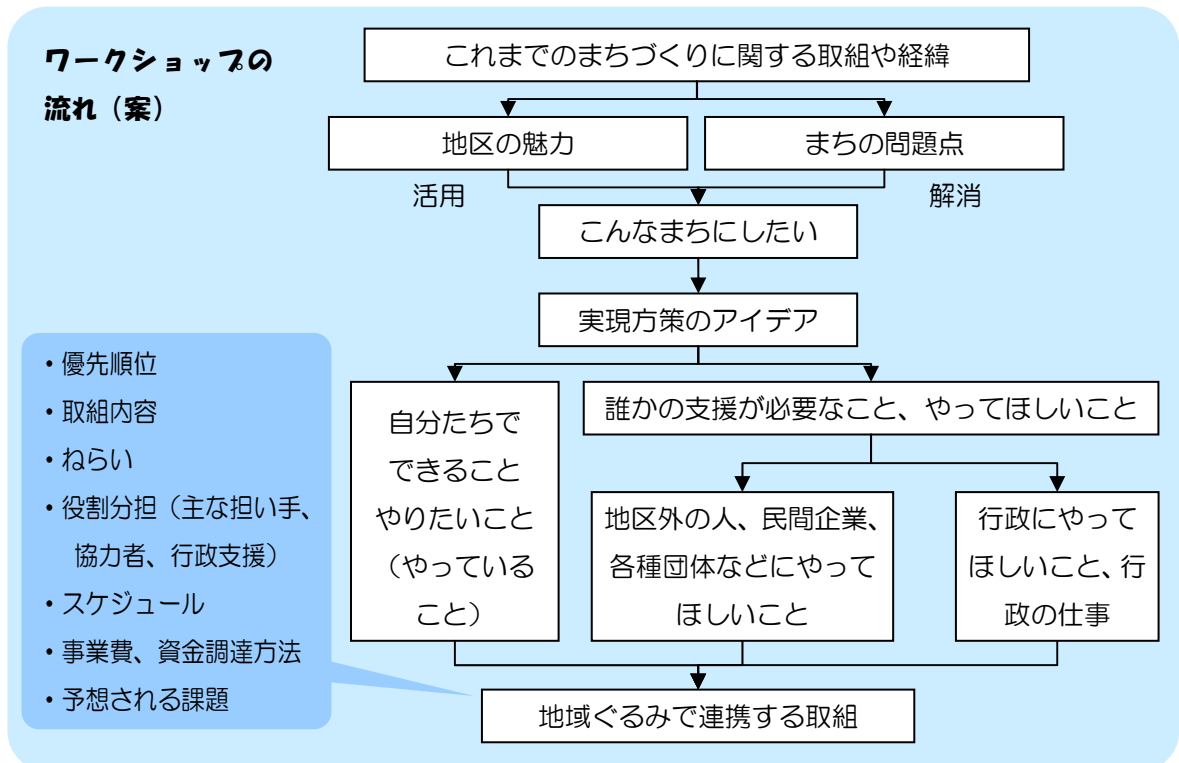
(1) 観光推進計画の事業実施に向けた連携体制

観光推進計画の事業実施に向けて、地域住民が主役となるまちを目指し、民間事業者の活力の導入・連携を図りながら行政支援を行います。



(2) 地域住民と連携したまちづくりの手法

住民とともにワークショップなどの手法を通してまちについて検討し、協働しながら、実現に向けて施策を進めていく必要があります。



(3) 事業スケジュール(案)

主な事業は、以下に示すスケジュールで進めていきます。

事業	H24	25	26	27	28	29	30
・大手筋の復元・整備・保全 ・その他遺構の調査・復元・整備・保全							
・久松公園の整備							
・その他の施策の詳細計画							
・その他の施策の整備							